

2018年5月10日
テオリア第68号

定価 350円
毎月10日発行
定期購読料 年間 4000円
半年 2000円

郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

θεωρία テオリア

発行 研究所テオリア
東京都千代田区内神田1-17-12
勝文社第二ビル101
TEL & FAX 03-6273-7233
ホームページ
http://theoria.info
E-mail: email@theoria.info

リベラルとは何か



4月14日、国会前

リベラルとは何か

今年に入ってから、安倍政権による公文書隠蔽、改竄、捏造、セクハラなどの事件が次々と表面化している。森友疑惑の公文書改竄、加計疑惑の「首相案件」での行政私物化と隠蔽、防衛省日報隠蔽・幹部自衛官暴言、文科省・自民党議員による教育介入、「働き方改革」データ捏造、財務省セクハラ事件など。

安倍政権より前ならば、内閣総辞職になっているような事件ばかりだ。

財務事務次官福田淳一のセクシャルハラスメントについては、被害者が名乗り出なければセクシャルハラスメントとして認めないと居直り。財務相麻生を先頭に政権・自民党は加害者を擁護し、被害者を攻撃するセクシャルハラスメントを重ねている。財務省自体、政権自体がセクハラ官庁、セクハラ政権だ。

今年になってからの一連の事件の噴出は、憲法・法律よりも自らのお友達を上位に置く安倍政権の私物化政治の必然的結果だ。

だが、安倍政権は居直り、官僚に責任を押しつけ、何の責任も取っていない。朝鮮半島情勢の変化を利用して、改憲実現のために9月には3選をしようと、政権延命を画策している。

安倍政権を追い込み、安倍政治からの根本的転換へ進めるのが問われている。(4月21日)

座標塾第14期 (2018年3月～11月)

- 第1回 リベラルとは何か
3月9日(金)11終了
 - 第2回 ポスト・グローバル化の政治
5月18日(金)午後6時半
 - 第3回 税と社会保障、ベーシック・インカム
7月20日(金)午後6時半
 - 第4回 リーマン・ショックから10年
——資本主義はどう変わったか
9月14日(金)午後6時半
 - 第5回 9条加憲論を批判する
11月16日(金)午後6時半
- 講師 第2回 大井赤彦
(日本学術振興会特別研究員)
- 第2回以外 白川真澄
(ヒールズ・プラン研究所)
- 会場 文京シビックセンター(3回目以降予定)
参加費 通し4000円(会員2500円)
1回1000円(会員500円)
- ※要申込 研究所テオリア
03-6273-7233

テオリア論集7

安倍一強政治の「終焉」 民主主義と社会保障のこれから

私たちの流儀はいま(ポスト・グローバル時代の民主主義)

私たちが現場から社会を変える

五輪災害と祝賀資本主義

なぜ反東京オリピックなのか

ロシア革命の「意味」と現代世界

2018年5月発行

定価 1000円 発行 研究所テオリア

紙面紹介

- リベラルとは何か(上) 白川真澄……………2～4面
- 成田第3滑走路/東峰区声明……………5面
- 管制塔占拠闘争40年集会/金城実さん来訪……………6～7面
- 反五輪/パレスチナ/沖縄裁判……………8面

座標塾第14期第1回

リベラルとは何か

(上)

白川 眞澄

はじめに

いま、リベラルへの注目や関心が強まっています。いうまでもなく、昨年の総選挙で立憲民主党が躍進し、市民運動の中で期待感が高まったことが背景にあります。立憲民主党が話題になると、必ず「リベラルとは何か」という問いが出ます。

しかし、「リベラルとは何か」と問われると、相異なる見解が錯綜して飛び交っている。

なかでも、枝野代表の「保守とリベラルは対立概念ではありません。私はリベラルであり、保守です」(17年10月3日)という発言が物議をかもしました。彼は、自分の立ち位置はかつての自民党内の保守本流、つまり宏池会の流れだとも言う。自民党内のリベラル潮流が姿を消してしまった現在、それを引き継ぐというわけですね。

他方では、安倍首相も「私がやっていることはかなりリベラルなんだよ」と語っている(朝日新聞17年12月

26日)。たしかに、安倍はリベラル・左派の「大きな政府」型の政策を取り入れています。こうなると、話がますますややこしくなる。

このように、リベラルをめぐってさまざまな見方が出ています。こうした状況を反映して、リベラルと何かをめぐる議論も活発になっっている。『中央公論』18年1月号は「特集 あいまい

いな日本のリベラル」を、『現代思想』18年2月号は「特集 保守とリベラル——ねじれる対立軸」を組んでいます。

そこで、今回は「リベラルとは何か」を、原理というか歴史的に遡って考えてみたい。リベラルとは歴史的にどういうものとして出現してきたのか、リベリズムとはどういう思想かを考察し、そこから現在の日本の政治に立ち帰ってくることにします。

翼に接近し一体化しがちである。リベラルは、国家による個人の自由の侵害に対して左翼がたたかうかぎり、左翼と手を組みます。また、左翼とは違って自由な市場競争を個人の自由の基礎として重視するが、それが大きな社会的不平等や格差を生むことを批判する流れがある。現代では目立ってきている。そのかぎり、リベラルは左翼に重なります。

生むことを批判する流れがある。現代では目立ってきている。そのかぎり、リベラルは左翼に重なります。『保守VSリベラル』の対立軸は、『右翼VS左翼』の対立軸とは相対的に独立しているんですが、現実には重なっている部分が多いと言えます。

生むことを批判する自由は、「道徳や倫理、良識という『自然の節度』(パーク)の枠組みのなかで享受される」自由である。「歴史的・社会的に構成される制約……という枠組みがあつてこそ、人々は真に自由を確立することができる」(『リベラル保守宣言』)。

「個人の自由だけを抽象的に言っても政治的共同体は成り立たない」、政治的共同体(価値を共有する仲間)へのコミットメントがあつてはじめて、自由は守られる(同上)。

「現行の政治体制を全否定するのはなく、そのなかにある自由の契機をより拡大していくことを目指すのが本来の保守主義」である(宇野・大澤真幸「転倒する保守とリベラル」での宇野の発言、『現代思想』18年2月号)。

保守とリベラルは対立しない？

服従を拒否する。また、左翼は社会的な平等を重視するが、リベラルは平等の実現が個人の自由の侵害(国家権力の強制による平等の実現)になることを警戒します。

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

リベラルとは何か——暫定的規定

リベラルとは何かを論じていくための視座を、とらえ直す設定してみます。

リベラル(リベリズム)の最も核心的な意味は、個人の自由を最優先することにある。したがって、リベラルは、『右翼VS左翼』の対立軸からは独立している、と言えます。右翼は国家・民族の存在や価値を絶対視する立場だが、リベラルは国家・民族への個人の

リベラルとは何かを論じていくための視座を、とらえ直す設定してみます。

リベラル(リベリズム)の最も核心的な意味は、個人の自由を最優先することにある。したがって、リベラルは、『右翼VS左翼』の対立軸からは独立している、と言えます。右翼は国家・民族の存在や価値を絶対視する立場だが、リベラルは国家・民族への個人の

リベラルとは何かを論じていくための視座を、とらえ直す設定してみます。

リベラル(リベリズム)の最も核心的な意味は、個人の自由を最優先することにある。したがって、リベラルは、『右翼VS左翼』の対立軸からは独立している、と言えます。右翼は国家・民族の存在や価値を絶対視する立場だが、リベラルは国家・民族への個人の

リベラルとは何かを論じていくための視座を、とらえ直す設定してみます。

リベラル(リベリズム)の最も核心的な意味は、個人の自由を最優先することにある。したがって、リベラルは、『右翼VS左翼』の対立軸からは独立している、と言えます。右翼は国家・民族の存在や価値を絶対視する立場だが、リベラルは国家・民族への個人の

リベラルとは何かを論じていくための視座を、とらえ直す設定してみます。

リベラル(リベリズム)の最も核心的な意味は、個人の自由を最優先することにある。したがって、リベラルは、『右翼VS左翼』の対立軸からは独立している、と言えます。右翼は国家・民族の存在や価値を絶対視する立場だが、リベラルは国家・民族への個人の

リベラルとは何かを論じていくための視座を、とらえ直す設定してみます。

リベラル(リベリズム)の最も核心的な意味は、個人の自由を最優先することにある。したがって、リベラルは、『右翼VS左翼』の対立軸からは独立している、と言えます。右翼は国家・民族の存在や価値を絶対視する立場だが、リベラルは国家・民族への個人の

リベラルとは何かを論じていくための視座を、とらえ直す設定してみます。

リベラル(リベリズム)の最も核心的な意味は、個人の自由を最優先することにある。したがって、リベラルは、『右翼VS左翼』の対立軸からは独立している、と言えます。右翼は国家・民族の存在や価値を絶対視する立場だが、リベラルは国家・民族への個人の

リベラルとは何かを論じていくための視座を、とらえ直す設定してみます。

リベラル(リベリズム)の最も核心的な意味は、個人の自由を最優先することにある。したがって、リベラルは、『右翼VS左翼』の対立軸からは独立している、と言えます。右翼は国家・民族の存在や価値を絶対視する立場だが、リベラルは国家・民族への個人の

リベラルと保守は親和的？

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

中島は、次のように主張します。「日本では……『リベラルであること』と『保守であること』は、対抗関係にあるように捉えられ」

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

中島は、次のように主張します。「日本では……『リベラルであること』と『保守であること』は、対抗関係にあるように捉えられ」

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

中島は、次のように主張します。「日本では……『リベラルであること』と『保守であること』は、対抗関係にあるように捉えられ」

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

中島は、次のように主張します。「日本では……『リベラルであること』と『保守であること』は、対抗関係にあるように捉えられ」

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

中島は、次のように主張します。「日本では……『リベラルであること』と『保守であること』は、対抗関係にあるように捉えられ」

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

中島は、次のように主張します。「日本では……『リベラルであること』と『保守であること』は、対抗関係にあるように捉えられ」

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

中島は、次のように主張します。「日本では……『リベラルであること』と『保守であること』は、対抗関係にあるように捉えられ」

リベラルは保守とは対立せず、むしろ保守と親和的であると主張してきたのは、「リベラル保守」を自認してきた中島岳志(東工大教授)です。

中島は、次のように主張します。「日本では……『リベラルであること』と『保守であること』は、対抗関係にあるように捉えられ」

保守主義とは何か

私は一貫して左翼の側にいたので、率直に言って保守主義について真面目に勉強してきませんでした。最近保守主義の見直しが行われている。

保守はリベラル(リベリズム)の対極にあるとされるが、宇野重規も、E・パークに代表される本来の保守主義は自由を主張するもので、復古主義とは違うと言います(『保守主義とは何か』二〇一六年、中公新

私は一貫して左翼の側にいたので、率直に言って保守主義について真面目に勉強してきませんでした。最近保守主義の見直しが行われている。

保守はリベラル(リベリズム)の対極にあるとされるが、宇野重規も、E・パークに代表される本来の保守主義は自由を主張するもので、復古主義とは違うと言います(『保守主義とは何か』二〇一六年、中公新

私は一貫して左翼の側にいたので、率直に言って保守主義について真面目に勉強してきませんでした。最近保守主義の見直しが行われている。

保守はリベラル(リベリズム)の対極にあるとされるが、宇野重規も、E・パークに代表される本来の保守主義は自由を主張するもので、復古主義とは違うと言います(『保守主義とは何か』二〇一六年、中公新

私は一貫して左翼の側にいたので、率直に言って保守主義について真面目に勉強してきませんでした。最近保守主義の見直しが行われている。

保守はリベラル(リベリズム)の対極にあるとされるが、宇野重規も、E・パークに代表される本来の保守主義は自由を主張するもので、復古主義とは違うと言います(『保守主義とは何か』二〇一六年、中公新

私は一貫して左翼の側にいたので、率直に言って保守主義について真面目に勉強してきませんでした。最近保守主義の見直しが行われている。

保守はリベラル(リベリズム)の対極にあるとされるが、宇野重規も、E・パークに代表される本来の保守主義は自由を主張するもので、復古主義とは違うと言います(『保守主義とは何か』二〇一六年、中公新

私は一貫して左翼の側にいたので、率直に言って保守主義について真面目に勉強してきませんでした。最近保守主義の見直しが行われている。

保守はリベラル(リベリズム)の対極にあるとされるが、宇野重規も、E・パークに代表される本来の保守主義は自由を主張するもので、復古主義とは違うと言います(『保守主義とは何か』二〇一六年、中公新

私は一貫して左翼の側にいたので、率直に言って保守主義について真面目に勉強してきませんでした。最近保守主義の見直しが行われている。

保守はリベラル(リベリズム)の対極にあるとされるが、宇野重規も、E・パークに代表される本来の保守主義は自由を主張するもので、復古主義とは違うと言います(『保守主義とは何か』二〇一六年、中公新

私は一貫して左翼の側にいたので、率直に言って保守主義について真面目に勉強してきませんでした。最近保守主義の見直しが行われている。

保守はリベラル(リベリズム)の対極にあるとされるが、宇野重規も、E・パークに代表される本来の保守主義は自由を主張するもので、復古主義とは違うと言います(『保守主義とは何か』二〇一六年、中公新

近代におけるリベラルの登場

ヨーロッパのリベラルの潮流は、個人の自由が市場での自由な競争によって保障されると考え、市場経済を推進する側に立った。保守の潮流も現行の社会秩序を守ろうとするから、市場経済や資本主義を肯定します。リベラルと保守は、この点で一緒になった。ヨー

ヨーロッパのリベラルの潮流は、個人の自由が市場での自由な競争によって保障されると考え、市場経済を推進する側に立った。保守の潮流も現行の社会秩序を守ろうとするから、市場経済や資本主義を肯定します。リベラルと保守は、この点で一緒になった。ヨー

ヨーロッパのリベラルの潮流は、個人の自由が市場での自由な競争によって保障されると考え、市場経済を推進する側に立った。保守の潮流も現行の社会秩序を守ろうとするから、市場経済や資本主義を肯定します。リベラルと保守は、この点で一緒になった。ヨー

ヨーロッパのリベラルの潮流は、個人の自由が市場での自由な競争によって保障されると考え、市場経済を推進する側に立った。保守の潮流も現行の社会秩序を守ろうとするから、市場経済や資本主義を肯定します。リベラルと保守は、この点で一緒になった。ヨー

ヨーロッパのリベラルの潮流は、個人の自由が市場での自由な競争によって保障されると考え、市場経済を推進する側に立った。保守の潮流も現行の社会秩序を守ろうとするから、市場経済や資本主義を肯定します。リベラルと保守は、この点で一緒になった。ヨー

ヨーロッパのリベラルの潮流は、個人の自由が市場での自由な競争によって保障されると考え、市場経済を推進する側に立った。保守の潮流も現行の社会秩序を守ろうとするから、市場経済や資本主義を肯定します。リベラルと保守は、この点で一緒になった。ヨー

ヨーロッパのリベラルの潮流は、個人の自由が市場での自由な競争によって保障されると考え、市場経済を推進する側に立った。保守の潮流も現行の社会秩序を守ろうとするから、市場経済や資本主義を肯定します。リベラルと保守は、この点で一緒になった。ヨー

ヨーロッパのリベラルの潮流は、個人の自由が市場での自由な競争によって保障されると考え、市場経済を推進する側に立った。保守の潮流も現行の社会秩序を守ろうとするから、市場経済や資本主義を肯定します。リベラルと保守は、この点で一緒になった。ヨー

社会民主主義とリベラル

これに対して、市場経済や資本主義に(否定はしないが)批判的なスタンスをとり、それがもたらす格差や恐慌(市場の失敗)を解決するために政府の介入・規制が必要であると主張したのは、社会民主主義です。政治潮流としては、

これに対して、市場経済や資本主義に(否定はしないが)批判的なスタンスをとり、それがもたらす格差や恐慌(市場の失敗)を解決するために政府の介入・規制が必要であると主張したのは、社会民主主義です。政治潮流としては、

これに対して、市場経済や資本主義に(否定はしないが)批判的なスタンスをとり、それがもたらす格差や恐慌(市場の失敗)を解決するために政府の介入・規制が必要であると主張したのは、社会民主主義です。政治潮流としては、

これに対して、市場経済や資本主義に(否定はしないが)批判的なスタンスをとり、それがもたらす格差や恐慌(市場の失敗)を解決するために政府の介入・規制が必要であると主張したのは、社会民主主義です。政治潮流としては、

これに対して、市場経済や資本主義に(否定はしないが)批判的なスタンスをとり、それがもたらす格差や恐慌(市場の失敗)を解決するために政府の介入・規制が必要であると主張したのは、社会民主主義です。政治潮流としては、

これに対して、市場経済や資本主義に(否定はしないが)批判的なスタンスをとり、それがもたらす格差や恐慌(市場の失敗)を解決するために政府の介入・規制が必要であると主張したのは、社会民主主義です。政治潮流としては、

これに対して、市場経済や資本主義に(否定はしないが)批判的なスタンスをとり、それがもたらす格差や恐慌(市場の失敗)を解決するために政府の介入・規制が必要であると主張したのは、社会民主主義です。政治潮流としては、

これに対して、市場経済や資本主義に(否定はしないが)批判的なスタンスをとり、それがもたらす格差や恐慌(市場の失敗)を解決するために政府の介入・規制が必要であると主張したのは、社会民主主義です。政治潮流としては、

党に代表される保守は、新自由主義に立って市場での自由競争の復権を強調する。一方で、文化的・社会的な多様性(性的マイノリティや移民との共生)を否定する不寛容を特徴としている。現在の保守主義は、パークの主張した保守主義からは大きく変質している。

党に代表される保守は、新自由主義に立って市場での自由競争の復権を強調する。一方で、文化的・社会的な多様性(性的マイノリティや移民との共生)を否定する不寛容を特徴としている。現在の保守主義は、パークの主張した保守主義からは大きく変質している。

党に代表される保守は、新自由主義に立って市場での自由競争の復権を強調する。一方で、文化的・社会的な多様性(性的マイノリティや移民との共生)を否定する不寛容を特徴としている。現在の保守主義は、パークの主張した保守主義からは大きく変質している。

党に代表される保守は、新自由主義に立って市場での自由競争の復権を強調する。一方で、文化的・社会的な多様性(性的マイノリティや移民との共生)を否定する不寛容を特徴としている。現在の保守主義は、パークの主張した保守主義からは大きく変質している。

党に代表される保守は、新自由主義に立って市場での自由競争の復権を強調する。一方で、文化的・社会的な多様性(性的マイノリティや移民との共生)を否定する不寛容を特徴としている。現在の保守主義は、パークの主張した保守主義からは大きく変質している。

党に代表される保守は、新自由主義に立って市場での自由競争の復権を強調する。一方で、文化的・社会的な多様性(性的マイノリティや移民との共生)を否定する不寛容を特徴としている。現在の保守主義は、パークの主張した保守主義からは大きく変質している。

党に代表される保守は、新自由主義に立って市場での自由競争の復権を強調する。一方で、文化的・社会的な多様性(性的マイノリティや移民との共生)を否定する不寛容を特徴としている。現在の保守主義は、パークの主張した保守主義からは大きく変質している。

党に代表される保守は、新自由主義に立って市場での自由競争の復権を強調する。一方で、文化的・社会的な多様性(性的マイノリティや移民との共生)を否定する不寛容を特徴としている。現在の保守主義は、パークの主張した保守主義からは大きく変質している。



フランス革命

たわけです。

リベラルが左旋回して明確な政治潮流として登場したのが、米国です。1929年大恐慌の後、民主党のルースベルト政権がニューディール政策による政府介入路線を採りました。それまでの自由放任政策を転換して政府が経済に強力に介入し、公共事業で雇用を創出する。労働組合に権利を与え、マイノリティの権利を擁護する政策を推進した。ケインズ主義にもとづく金融・財政政策で経済をコントロールし、所得再分配をする「大きな政府」が登場しました。

リベラルVS保守の対抗の展開

このように、現代のリベラルは、個人の自由(人権)や文化的・社会的多様性を尊重するが、経済的には所得再分配による格差是正を積極的に進める政治潮流となった。言いかえると、

共産主義・社会主義の運動の伝統がほとんどなかったこともあり、リベラルが左翼を代行したと言えます。

これに對抗する形で、共和党は、市場競争を重視する「小さな政府」路線をとり、「リベラルVS保守」の政治的対抗関係が明確な姿で展開されるようになりまし

政府が強制力行使して、規制を行うことを認めるようになったわけでは

これに對抗して、保守は、1980年代にクローバ

化のなかで「大きな政府」の行き詰まりによって勢いを盛り返し(レーガン共和党政権)、市場重視・自己責任論に立つ新自由主義的「改革」を展開しました。

それは、福祉国家の諸制度や労働組合の権利を破壊する「保守革命」と呼ばれた。保守は、移民や性的マイノリティに不寛容で社会的・文化的多様性を否認する一方で、規制緩和と「小さな政府」(社会保障の削減)路線によって社会の解体的再編を推し進めました。

こうして、「リベラル」は、経済的自由主義(小さな政府)と結びついた保守と対抗して、市場への政府介入や公共的規制によって格差是正・所得再分配をめざす(「大きな政府」)潮流となりました。

安倍が「私がやっていることはかなりリベラルなんだよ」と語った「リベラル」は、この意味です。たしか

なお、イギリスでも19世紀末から20世紀初め、

ニューリベラリズムが出てくる。これは格差是正を主張する潮流で、福祉国家建設を提唱したベヴァリッジ報告(1942年)に辿り着いた。大井赤彦さんは、このことをリベラリズムの左旋回と呼んでいます。

に、2016年以降、安倍再配分、福祉などによって

政権は口先だけにしろ、分配重視・格差是正の政策を採り入れてきたから、本来の右翼保守の安倍が必ずしもデタラメなことを言っているわけではない。

「アメリカ合衆国で用いられる意味での『リベラル』と『保守』の対立が今では最もポピュラーなものだろう。『リベラル』とは、市場経済を放置しておくのではなく、政府が景気刺激策や

政治思想としてのリベラリズムの原理的な展開を試みたのは、J・ロールズの『正義論』(1971年、新訳は川本隆史ほか訳、2010年、紀伊国屋書店)です。分厚い本で読むのは大変ですが。

ロールズは、「正義(公正としての正義)」に関する二つの原理を、次のように導きだします。まず、社会の成員全員が、誰も社会のなかでの自分の境遇や階級上の地位、社会的身分を知らないだけでなく、資産や生まれつきの能力の分配がどれほど恵まれていなくても知らされていなく、という

「原初状態」を設定する。「原初状態」とは、社会契約を結びルールを決める以前の自然状態のことです。

リベラリズムの理論——ロールズの『正義論』

正義の二つの原理

第一原理…各人は基本的な諸自由に対する平等な権利を持つべきである。これは、「平等な自由の原理」と呼ばれます。

第二原理…社会的・経済的不平等は、(1)公正な機会均等の下での不平等である、(2)最も不遇な立場にある人びとの利益を最大化する、という条件を満たすかぎりにおいて許容される。

第二原理は、二つのことから成り立っています。(1)は、誰にも競争のための機会が平等に保障されるならば、その下での自由競争の結果として生じる不平等は許容される、ということ。これは、「公正な機会均等原理」と呼ばれる。

(2)は、最も経済・社会的に不遇な人の利益を最大

化するようになければいけない、つまり格差是正しなければいけないということです。これは、「格差原理」と呼ばれる。

ロールズは、第一原理(平等な自由の原理)は第二原理に優先し、第二原理のなかでは「公正な機会均等原理が格差原理よりも優先する」と述べている。ただし、機会均等原理と格差原理とは一体のものである、とも考えている。ロールズのリベラリズム論は、やはり「格差原理」を導入したことに特徴がある、と思います。

ロールズの議論の出発点は、「最大多数の最大幸福」原理に立つ功利主義を批判することにありました。功利主義は、例えば99人の幸福のために1人が犠牲になることもやむをえない、なぜならそれが社会全体の幸福度(満足度)を最大化することになるからだ、と考

える。これは、世の中の支配的な価値観、常識としてまかり通っています。ロールズは、この功利主義をきびしく批判し、個人の自由の権利がすべての人に平等に保障されるべきことを「正義」として主張したのです。そして、正義の原理のなかに「格差原理」を入れた。このことによ

って、社会の中で不利益を被っているマイノリティや社会的弱者の権利や利益を守ることの重要性を主張した、と言えます。しかし、このことは、リベラリズムの内部で新たな対立や論争

を引き起こすことになりました。

ロールズへの批判——コミュニタリアニズム

ロールズは個人の自由を最優先するが、その自由の権利がすべての人間に対して平等に保障されるべきだと主張します。そして、自由の出身に関して、権利(としての自由)の公正な分配を「正義」とするが、個人がどのような生き方(善い生き方)を選ぶべきかについては個人の自由にかんづいては個人の自由にかねる。すなわち、正義(justice)と善(gods)をはっきり区別し、「善き生」は個人々の選択に委ね、社会が保障するのは正義としての権利だけである、と考

え、と考えます。しかし、ロールズが原理的な基礎づけを試みたリベラリズムは、自由を重視する同じ立場のなかでの相反する両極からの批判を受けることになりました。リベラリズムが想定する個人は、合理的な判断力をもっていて自己決定できる個人、すなわち「強い個人」です。だから、自己決定の権利や公平な競争の機会を正義として保障すればよく、どのような生き方を「善」として選ぶかについては干渉しない。大酒を飲んで早死にするような人生を選択するの、個人の自由だということになる。愚行をする権利を認めるわけでは

そこで、ロールズに対して、競争で勝つような合理的判断力をもつ個人しか想定していないという批判が出されてくる。しかし、この社会には幼児や認知症の高齢者や知的障害者のように自己決定する能力を欠いている人が大勢います。それだけでない。どんな人間でも、他者への依存関係のなかで生き、そのなかで決定や選択をしている。個人が物事を考えるときに、自分の頭のなかで一人で考える場合でも、必ず言葉を使う。しかし、言葉は個人ではなく、共同のもの、社会的なものです。だから、個人は、他者との依存関係のなかでしか生きられない。主張します。

そこから、リベラリズムは人間が他者依存的な存在であることを見過ごしている、という批判が出てきた。M・サンデルに代表されるコミュニタリアニズム(共同体主義)からの批判です。コミュニタリアニ

ムは、「善き生」は個人々の選択に委ね、社会が保障するのは正義としての権利だけである、と考

え、と考えます。しかし、ロールズが原理的な基礎づけを試みたリベラリズムは、自由を重視する同じ立場のなかでの相反する両極からの批判を受けることになりました。リベラリズムが想定する個人は、合理的な判断力をもっていて自己決定できる個人、すなわち「強い個人」です。だから、自己決定の権利や公平な競争の機会を正義として保障すればよく、どのような生き方を「善」として選ぶかについては干渉しない。大酒を飲んで早死にするような人生を選択するの、個人の自由だということになる。愚行をする権利を認めるわけでは

リベラルとは何か・目次

はじめに

保守とリベラルは対立しない？

近代におけるリベラルの登場

リベラリズムの理論——ロールズの『正義論』

リベラリズム・立憲主義の意義

日本におけるリベラル——保守リベラル

日本におけるリベラル——民主党

日本におけるリベラル——憲法平和主義

立憲民主主義の評価

リベラル勢力と左翼

(以上次号)



(3)面から続く
め、異質な価値観を排除して社会を同質化する動きを許し、公共性を上から強制する結果に陥りがちです。その結果、国家が持ち出す愛国心やモラルを共通善として主張する保守主義に結びついていく危うさを抱えています。

両極への引き裂かれ

これとは対極的な批判も出されます。リベラリズムは、ロールズの「正義」の原理、とくに「格差原理」に立つと、政府が所得再分配政策によって市場経済に介入することを正当化します。それは個人に対する強制力の行使(課税や規制)であり、自分が得た所得を自由に消費や投資に使うという経済的自由を制約する。そこから、個人の自由を最大化する立場に立てば、政府による所得再分配

政策(とくに累進課税)は自由の侵害である、という批判が生まれる。個人の自由を最大化することを主張するリベタリアニズムからの批判です。
ノージックらのリベタリアニズムは、国家は課税などの強制力を持ち個人の自由を制限する存在であるから、国家を最小化するべきである、と主張します。政府の規制や介入をなくして経済活動を市場の自由な競争に委ねるべきであり、それによって経済の効率性も高まる。競争の結果として格差が生まれても、機会の平等が保障されているならば、その格差は個人の努力や能力の差から生まれたもので、不正ではない。自己責任に帰すことができ、と考えるわけです。
このようにロールズのリベラリズムからは、2つの相対立する批判が登場してきて論争が生じた。リベラリズムは、相反する2つの傾向を抱え込むことになり

ます。一方では、経済的分野を含めて個人の自由を最大化し、機会の平等という条件の下で自由な競争を推進・奨励する。その結果として能力や努力の差による格差は「自己責任」として許容される。
もう一方では、社会的・経済的不平等格差は是正されるべきであり、政府の介入が許容される。すなわち、個人の自由を守る政治的共同体の安定的な維持のために、他者との連帯を社会保障といった制度として築こうとします。

ロールズの「正義」に関する第二原理は、この相対立する2つの志向性を抱えていて、しばしば対立し引き裂かれる、と言えます。野をめぐって個人の自由を最大化し、機会の平等という条件の下で自由な競争を推進・奨励する。その結果として能力や努力の差による格差は「自己責任」として許容される。もう一方では、社会的・経済的不平等格差は是正されるべきであり、政府の介入が許容される。すなわち、個人の自由を守る政治的共同体の安定的な維持のために、他者との連帯を社会保障といった制度として築こうとします。

ロールズの「正義」に関する第二原理は、この相対立する2つの志向性を抱えていて、しばしば対立し引き裂かれる、と言えます。野をめぐって個人の自由を最大化し、機会の平等という条件の下で自由な競争を推進・奨励する。その結果として能力や努力の差による格差は「自己責任」として許容される。もう一方では、社会的・経済的不平等格差は是正されるべきであり、政府の介入が許容される。すなわち、個人の自由を守る政治的共同体の安定的な維持のために、他者との連帯を社会保障といった制度として築こうとします。

ロールズの「正義」に関する第二原理は、この相対立する2つの志向性を抱えていて、しばしば対立し引き裂かれる、と言えます。野をめぐって個人の自由を最大化し、機会の平等という条件の下で自由な競争を推進・奨励する。その結果として能力や努力の差による格差は「自己責任」として許容される。もう一方では、社会的・経済的不平等格差は是正されるべきであり、政府の介入が許容される。すなわち、個人の自由を守る政治的共同体の安定的な維持のために、他者との連帯を社会保障といった制度として築こうとします。

ロールズの「正義」に関する第二原理は、この相対立する2つの志向性を抱えていて、しばしば対立し引き裂かれる、と言えます。野をめぐって個人の自由を最大化し、機会の平等という条件の下で自由な競争を推進・奨励する。その結果として能力や努力の差による格差は「自己責任」として許容される。もう一方では、社会的・経済的不平等格差は是正されるべきであり、政府の介入が許容される。すなわち、個人の自由を守る政治的共同体の安定的な維持のために、他者との連帯を社会保障といった制度として築こうとします。

ロールズの「正義」に関する第二原理は、この相対立する2つの志向性を抱えていて、しばしば対立し引き裂かれる、と言えます。野をめぐって個人の自由を最大化し、機会の平等という条件の下で自由な競争を推進・奨励する。その結果として能力や努力の差による格差は「自己責任」として許容される。もう一方では、社会的・経済的不平等格差は是正されるべきであり、政府の介入が許容される。すなわち、個人の自由を守る政治的共同体の安定的な維持のために、他者との連帯を社会保障といった制度として築こうとします。

ロールズの「正義」に関する第二原理は、この相対立する2つの志向性を抱えていて、しばしば対立し引き裂かれる、と言えます。野をめぐって個人の自由を最大化し、機会の平等という条件の下で自由な競争を推進・奨励する。その結果として能力や努力の差による格差は「自己責任」として許容される。もう一方では、社会的・経済的不平等格差は是正されるべきであり、政府の介入が許容される。すなわち、個人の自由を守る政治的共同体の安定的な維持のために、他者との連帯を社会保障といった制度として築こうとします。

リベラリズム・立憲主義の意義

リベラリズムと民主主義

リベラリズムは個人の自由に重要な価値を見出しますから、政治制度の面では国家権力の行使を制限する立場に立ちます。そこで、個人の自由(人権)を守るために憲法によって国家権力の行使をあらかじめ縛る立憲主義という原理や仕組みを導き出します。

近代においては、国家権力と民衆との関係をめぐって、二つの対称的な考え方や仕組みが存在してきました。一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

一方では、経済的

住民の反対を踏みにじり 成田第3滑走路計画「合意」

スライド運用を導入。B滑走路(2500メートル)を北側に1千メートル再々延伸。3500メートルに。空港用地面積は現在の1400ヘクタールから約1千ヘクタールに拡大。0ヘクタールに拡大。NAAの周辺対策交付金を現在の40億円から1.5倍の総額約60億円に増額。

第3滑走路完成後は年間発着回数を現在の30万回から1.7倍の50万回に拡大する。第3滑走路建設に伴い、新たに約660ヘクタールの用地取得が必要(登記簿上の地権者は1400人)。B滑走路延伸は、約20ヘクタールの用地取得が必要で地権者50人。芝山町は約150戸700~800人の住民が移転対象となり、横芝光町は町の多くが騒音地域となる。

3月13日、成田空港の四者協議会(国・成田国際空港会社・千葉県・周辺9市町)は成田空港機能強化策で最終合意した。夏目誠成田空港会社(NAA)社長は「地権者と誠意を持って話し合い、用地取得にあたりたい」と述べた。今後、NAAは飛行場設置変更許可を国土交通省に申請。公聴会等を経て事業に着手する計画だ。

機能強化の内容は、約10年後の完成を目指し、第三滑走路(C滑走路)を多古町・芝山町・横芝光町に建設(横芝光町は正式とりやめ)。2020年東京五輪・パラリンピックまでにA滑走路の運用時間を午前6時~午前0時に1時間延長。第3滑走路運用開始後の発着時間は空港全体で午前5時~午前0時半に2時間半延長。1日19時間半に飛行制限時間は7時間から4時間半に大幅短縮。運用時間の延長は開港後初。滑走路ごと運用時間をずらす

大きく悪化する。2020年までにA滑走路の夜間1時間延長で午後10時台の便数制限は撤廃。午後10時以降の年間平均発着回数は1日当たり現在の3倍の30回になる。C滑走路運用時は、スライド運用で各滑走路で静穏時間7時間を確保するとしているが、早朝・深夜の時間帯に空港騒音がまき散らされるのであり、スライド運用は全くのまやかしだ。NAAは年間50万回になれば旅客数は現在の倍の750万人。貨物取扱量は1.5倍の300万トン。空港の従業員数は4万人から7万人に増えると経済効果を喧伝。反対論を封じようとしている。安倍政権は訪日外国人を2030年までに倍以上の6千万人に増やす政府目標を掲げている。目標達成と海外空港との競争に勝ち抜くために、機能強化・50万回化が必要だとしている。だが、人口縮小が続く日本社会で6千万人の目標を掲げるのが現実的・合理的なのかの検証は全くない。最初から数字ありき、結論ありきの計画だ。拡大ありき、建設ありきの空港計画を今こそ問い直し、反対しなければいけない。(F)



横芝光町の看板

「地元同意」は得られていない! 四者協での「成田空港の更なる機能強化」決定は認められません

2018年3月末 成田市東峰区

私たち住民は同意していません。首長だけの同意は地元同意とは言えません。

「同意」と言ったら、「Bには反対」と言ったら、「Bを使うことはありませんから」と、あとは何もありません。お返事でした。B開業以来、私たち東峰区民の了承もなく頭上を飛び交う飛行機はあっても、台風や事故での遅延など深夜までの飛行の連絡がNAAからあれば、「人道問題」でもあり、否とも応とも言えず、そのことがNAAなど他からみれば「了承」「協力」と受け止められたかもしれませぬ。しかし、今後はどんな事態でも夜間飛行制限撤廃で増便運航される便のB使用については一切否、非協力です。区に隣接するターミナルや駐車場での自走やエンジンテストなど「営業騒音」の時間延長や騒音被害拡大も認めるつもりはあります。

この3月13日、「成田空港四者協議会」は、夜間飛行制限撤廃など空港被害拡大に対する多くの反対があることを承知のうえ、「成田空港の更なる機能強化」を決定しました。周知のとおり、四者協は国、NAAのほか、県と9市町の首長だけで構成されています。騒音地域も合わせて面積1万ヘクタール以上、人口数十万にも及ぶ地域住民の生命や財産、大小の地域共同体の存否にかかわる大問題にもかかわらず、四者協は「一昨年から各市町各集落で行われてきた市町各集落で行われてきた「説明会」で、住民との話し合いが行われて合意が得られたというかもしれない。しかし、東峰区での説明は「飛行回数や飛行時間を増やす」ことに伴う防音工事や移転など「飛ばす側」からの「対策」ばかりでした。肝心な「用地問題や騒音・落下物被害、地域間格差の拡大など、現在の

者協では住民は意見表明や議論する機会一度も与えられていません。住民や報道陣の傍聴も許されない非公開の会議で、「地元同意」と判断されたというのです。おかしくありませんか。私たち東峰区も3回にわたって「説明会」を行いましたが、どの会でも住民の誰ひとりも「更なる機能強化」に賛同したことはありません。住民個々の生命財産にかかわる「合意」は首長は代行できるのでしようか。「説明会」は一方的な説明以上ではなく、とても「話し合い」とは言えません。

四者協は「一昨年から各市町各集落で行われてきた市町各集落で行われてきた「説明会」で、住民との話し合いが行われて合意が得られたというかもしれない。しかし、東峰区での説明は「飛行回数や飛行時間を増やす」ことに伴う防音工事や移転など「飛ばす側」からの「対策」ばかりでした。肝心な「用地問題や騒音・落下物被害、地域間格差の拡大など、現在の

制限など当初からの最低限の制約があつて当然ではないのか」などの問いや批判には、「開港時、シンボロ車の時代とは状況が変わった。空港間競争に勝ち抜かねばならないから」という答えしか返ってきません。住民が、健康や生活、地域の将来について空港との関係を問うているにもかかわらず、「対策」や技術的な問題だけで「事足りる」という答えが返ってきます。問いと答えが大逆無道では話し合いは成立しません。朝5時から深夜1時まででの運用時間どこでも大反対されて、出てきたのが「6時間スライド案」と聞いて、その発想が信じられずあきれるばかりでした。睡眠時間スライド制など、夜間飛行制限撤廃—A滑走路先行実施には同意も協力もいたしません。その提案そのものが最初の「説明会」での約束違反です。

一昨年12月、東峰区での最初の説明会でNAAは「いつまでと期限を切ることもせず、地域の皆さんに説明し了承していただく」と明言しました。そのとき夜間飛行制限「緩和」は「更なる機能強化の1つ」として、B滑走路の延長新設後の「期限を設けず」と言っていたにもかかわらず、もつとも反対の声が高い夜間飛行制限撤廃について「東京オリンピック前までに同意を確定しろ」と、住民や自治体に迫ったわけですね。そしてこの3月、「時間が迫られている」と9市町の首長らだけで「7時間スライド」とA滑走路先行実施に地元「同意」を決定したのです。当然やられるべき新提案についての各地説明会も一切なしで「決定」されたのです。住民としてこれらを「地元同意」での決定と認めることはとうていできません。

また昨年12月の東峰区の説明会で「Aだけといって、事故などでA滑走路閉鎖の時にはBも使うだろうし、空港直近の騒音時間拡大も考えれば、A先行実施はありませぬ。」

四者協は、「空の行政代執行」へと突き進んでいきます。独断での行政手続きの進行をとめ、住民との話し合いの場を設けるべきです。今回のように、住民が何を言っているかが、個々の生命財産にかかわる重大な事項を首長が代行して決定できるとすれば、それはまさに「空の行政代執行」にはなりません。住民がいくらダメだといっても頭上を飛ばれば、生涯心身を傷つけられ続けるか、自己防衛のためにその家や土地から離れるしか選ぶようがないのです。これは暴力的手段での空港建設ではないのですか。

以上

新たな世直しのためにかいへー！ 3・26三里塚管制塔占拠闘争40年に集う

三里塚のイカロスを上映



3月25日、東京・連合会館で「1978・3・26三里塚管制塔占拠闘争40年今こそ新たな世直しを！3・25集会」が開かれた。主催は三里塚芝山連合空港反対同盟（柳川秀夫代表世話人）、元管制塔被告団。全

国から当時たまたかった仲間、当時を知らない世代など300人が集まった。集会第1部は映画「三里塚のイカロス」を上映。上映後、代島治彦監督は『三里塚に生きる』の大津幸四郎監督からも支援をいただけない方がいいと言われた。ずっとあの時代ってなんだろうという思いがあり、なぜあの時代が挫折したのだらうという思いも持

つようになった。10代20代の人たちはあの時代を全く知らない。あの時代をどうするのではなく、自分たちがどう生きるかの肥やしにしてほしいと思っ

て、支援の映画を作った。第2部の集いは中川憲一さん（元管制塔被告団）の司会で進められた。三里塚芝山連合空港反対同盟の柳川秀夫さん（代表世話人）が発言（要旨別掲）。次に元管制塔被告団から

平田誠剛さんが発言した（要旨別掲）。管制塔裁判弁護団だった清井礼司さんは「赤旗を管制塔に翻した鮮明な映像を未だに忘れることができない。71年、この地下壕はベトナムに通じていると言った。三里塚と沖縄は青い空でつながっていると言ひ換えない。沖縄の闘争も同じ環境にあることを意識しながら、三里塚、沖縄に向いて、またがんばろう」

2017木の根幻野祭の映像に続いて、大森武徳さん（三里塚物産）がビデオメッセージ。『三里塚物産』に入って7年。管制塔占拠事件の翌年79年に生まれて、横堀の思い出が非常に深い。合宿所、プロ青团結小屋、現闘本部。今思い返すと、今の僕の歳よりもっと若い人たちがも

のすごい教いたなど。空港に反対の思いであんなに集まる。2、3歳の頃の記憶が残っているが。集いは壮観で、一面ヘルメット。赤が多かった。それが父母の仲間。逆上から双眼鏡で見ている奴、紺色で盾を持っていてのは敵だ。子どもの頃、管制塔事件について聞いたら、原勲さんの思い出を語りながら、母は涙を流した。1978年3月26日の出来事は両親にとって忘れがたい時間だった。

三里塚闘争にピンとくるのはギリギリ僕の世代、それ以降は闘争そのものを見ることがない。若い人たちでも1つの歴史として興味を持っていてる人たちはいる。2011年木の根のプールを20何年ぶりに掃除しプール開きができた。それ以降、ペンションを修理したり、イベントを打った

りしている。あそこが大事な場所であるという実感を持っているという人はかなり増えている。反権力を叫ぶのは大事だけれども、イベントから入って後から歴史を知ったり、守っていくと思う人が増えていくというのも大事なのかなと思う。今後、まず有機農業を徹底して増やしていく。木の根ペンションを中心に、合宿所、鉄塔を僕らの世代から先にバトンしていく。維持していくためのいろんな作戦を練って実行に移していきたい」

運動のあり方を問う

次に石井紀子さんのメッセージが代読された。「78年は、私は結婚して三年目、幼い子を一人かかえ、なれない農作業や育児や、農家の嫁としての暮らしについていくのが精一杯で苦闘していた時期でした。横堀の要塞戦で多くの逮捕者が出て、じいちゃん（石井武さん）もその一人となった。私は私の仕事を守ることができず、この家を守ることを諦めた。反対闘争を支えることで、反対闘争を支えることにもなるんだと奮い立つような気持ちで毎日がんばっていました。今回、女性発言者が1人もいない。今、運動を担っているのは男ばかり。86年に東峰裁判の判決をめぐっ

て、被告の妻たちを中心とする女性の運動が盛り上がり、100人近い女達が集まったこともあった。けれども今はほとんどが出て行ってしまい、現地に残った女の人の中では集会に出て行くことするのは私一人かもしれない。管制塔占拠の闘いは、それを支えた闘いを黙々とがんばってきた人の中に、名前も知らない女性達もきつといたでしょう。黙々と働きのような作業をこなしてきた女性たちがいるんだということを忘れないで下さい。

私達は、前進していかねばなりません。止まっているように見えても、たとえ負け続けているように見えたとしても、精神は常に前進していかねばなりません。その為にか、男の人達は、女の話の聞かぬばなりませぬ。私ももう一度初心にたち返って「リブの現闘」としての役割を果たしていかねばと思えます。立ち止まっている暇はありません。皆さん、それぞれの立場で、がんばっていきましようね」と現在の男性中心の運動のあり方の問題点と課題を指摘した。

山崎宏さん（横堀）は3月13日に成田空港の四者協議会が合意した第3滑走路計画など成田空港機能強化案をめぐる状況について報告。「三里塚闘争は過去にあった闘いではなく、現在進行形の闘い。三里塚は、原発、沖縄・辺野古のたたかいと同じ、国策に対するたたかい。故に国家権力は闘争を潰そうと自分たちのやりたいことをやってくる。国策であるが故にたたかいても続く。計画では第3滑走路を2030年までに建設。飛行時間を延長するという計画を出してきた。これに対して、成田市川上地区、横芝光町など騒音直下の住民は反発している。しかし、周辺市町は圧力に抗することができなくて、住民の反対を切り捨てて合意。周辺の首長は全て第3滑走路計画に賛成した。第3滑走路問題については私達の力が足りず、社会的構造が変化し反対の運動を作り上げていくことがなかなかできない厳しい状況だが、たたかいを支援していく義務があると思う」

もう少しがんばろう

鎌田慧さん（ルポライターの）が「管制塔占拠という突出した闘いができたのは幅広い運動があったから。三里塚の農民たちが要塞に入って逮捕された。三里塚は秩父困民党、谷中村の闘い、砂川闘争を引き継いだ闘争。第2、第3の管制塔とは言わない。今は管制塔占拠しなくても勝てるような運動をどういう風に作っていくのか問われている。沖縄・辺野古のたたかいは素手で闘う非暴力闘争。管制塔を上回る闘いを準備し日常的につくることを問われている。私たちは三里塚闘争を一杯広げて闘ってきたが、やっぱりまだまだ頑張るべきだったことがある。もう少しがんばっていきましょう」

桂武さん（いわき自由労組）は「私は16歳から三里塚に関わり始めた。『三里塚は私たちの教室だ。農民は教師だ』と教えられた。福島現地にきてほしい。三里塚闘争と根っこは同じだ」松島光男さん（羽田空港増便問題を考える会）が「羽田空港では石油コンビナートのある川崎に向けて離陸させないとされていたが、増便して飛ばすとしていた。事故があったら大変なことになる」最後にこの日参加した元

守った場所を次の世代へ

平野靖識さん（三里塚物産）は「管制塔占拠の映像は50歳以上の人であれば非常に鮮やかな印象をもって頭の中に焼き付いていると

思う。私は中国の下放運動に影響されて三里塚に入った。当時、『銃口から政権が生まれる』という考えであさま山荘事件などが起こされ、人々のひんしゅくを買った。管制塔闘争は『人を殺さない、傷つけない』という敵しい自己規律を持ち、快挙を成し遂げた。三里塚物産も後継者ができた。二期用地だった三里塚物産のある場所は強制収用という力を排除して勝ち残った場所。あそこを大事にしていきたい」

統一して映像でのメッセージを紹介され、加瀬勉さん（三里塚大地共有委員会代表）は新年旗開きでのあいさつが上映された。加瀬さんは、加えて「国家権力の空港建設の暴政に抗すること50年。青天霹靂3・26管制塔に翻った赤旗は、月陽の如く天宙に輝いた。断固たる我々の戦いの決意。我々の勇気は、日本人民の将来、未来を指し示すものであった。時はいま、空港機能拡大阻止の戦線に征かんとす。吾、老いて野に伏すも志は千里にあり。壮心盛んにして新なり。2018年3月25日」というメッセージを寄せた。

「三里塚闘争にピンとくるのはギリギリ僕の世代、それ以降は闘争そのものを見ることがない。若い人たちでも1つの歴史として興味を持っていてる人たちはいる。2011年木の根のプールを20何年ぶりに掃除しプール開きができた。それ以降、ペンションを修理したり、イベントを打った

りしている。あそこが大事な場所であるという実感を持っているという人はかなり増えている。反権力を叫ぶのは大事だけれども、イベントから入って後から歴史を知ったり、守っていくと思う人が増えていくというのも大事なのかなと思う。今後、まず有機農業を徹底して増やしていく。木の根ペンションを中心に、合宿所、鉄塔を僕らの世代から先にバトンしていく。維持していくためのいろんな作戦を練って実行に移していきたい」

私達は、前進していかねばなりません。止まっているように見えても、たとえ負け続けているように見えたとしても、精神は常に前進していかねばなりません。その為にか、男の人達は、女の話の聞かぬばなりませぬ。私ももう一度初心にたち返って「リブの現闘」としての役割を果たしていかねばと思えます。立ち止まっている暇はありません。皆さん、それぞれの立場で、がんばっていきましようね」と現在の男性中心の運動のあり方の問題点と課題を指摘した。

山崎宏さん（横堀）は3月13日に成田空港の四者協議会が合意した第3滑走路計画など成田空港機能強化案をめぐる状況について報告。「三里塚闘争は過去にあった闘いではなく、現在進行形の闘い。三里塚は、原発、沖縄・辺野古のたたかいと同じ、国策に対するたたかい。故に国家権力は闘争を潰そうと自分たちのやりたいことをやってくる。国策であるが故にたたかいても続く。計画では第3滑走路を2030年までに建設。飛行時間を延長するという計画を出してきた。これに対して、成田市川上地区、横芝光町など騒音直下の住民は反発している。しかし、周辺市町は圧力に抗することができなくて、住民の反対を切り捨てて合意。周辺の首長は全て第3滑走路計画に賛成した。第3滑走路問題については私達の力が足りず、社会的構造が変化し反対の運動を作り上げていくことがなかなかできない厳しい状況だが、たたかいを支援していく義務があると思う」

（7面へ続く）

三里塚闘争が引き継いだ課題

柳川秀夫 三里塚芝山連合空港反対同盟

40年前の明日もとても良い日だった。3・26当日、みんなで力を合わせて物事をなした。

三里塚の現状は第3滑走路を作るといって、相変わらずどんどん空港を巨大化しようとしている。加瀬さんの住んでいるところは滑走路ができると騒音直下になる。そういう意味では昔からの住んでいたところがズタズタにされる状況。

52年前は村々が総決起して反対運動を始めた。今は

なかなかならぬ。個人では反対というのがあるんだけど、みんなで集まって力を合わせようというところが、できないような社会構造になっている。

私の部落の隣の東部落は滑走路に直接かかる。昔は反対運動を部落ぐるみでやってきた。けれども、誰一人反対の声が上がらない。日本全国の農村もそうだけど、昔の共同体というものが存在しない。若い人がその地域に残って生活するということに執着しない。

いまそれをやるのか、そうはいかないと思う。私達が空港内に忍び入った管制塔に至る排水溝の存在は反対同盟の人たちにとって、ある意味常識だった。それをおうと直前になっていた。

私が福島の避難者としてここで活動をするとき、1978年3月26日にあの青い空の下に一緒にいた人たちが平田が言うならと場所・物資を提供してくれた。熊本でもカンパしてもらった。私が通っている福島の仮設住宅のおばちゃんたちが

青い空に飛び出し始まった闘い

平田誠剛 元管制塔被告

40年前の3・26。暗がりから私達が青い空に向かって飛び出すところから空港の中の闘いが始まった。管制塔被告は世の中には悲劇がないと思っっているやつばかり。あの日の戦いで新山君は命を失い、管制塔と一緒に死んだ原君も4年後に拘禁症で自ら命を断つというつらい経験をした。それでも俺たちは面白がって生きてきたんだと思う。

確かに40年前には決意を

闘争のやり方があったらどうし、私もそれを正しいと思う。

い。今は便利なものができて、個人で生きていくのにそんなに不自由しない。こういう社会状況で成田の滑走路が大きくなる。巨大化する。自分の住んでいる地域の営々としたものが壊されていく。三里塚闘争というのは、今そういう状況になっている。

世直しということに三里塚は代執行の中で、必死に頑張ってそこに辿り着いた。結局、腹八分目の社会、持てるだけの社会。それが三里塚の行きついた課題と思っ

て。腹八分目の考え方が備わっていないとダメじゃありません。それが今の大きな課題。滑走路問題はあるんだけど、もう一回ズタズタにされた社会を作り直さないとダメだ。これは三里塚に限ったことではない。社会全体の構造でないかと思っている。

反対同盟と名乗ってはいらなくて、大半の人は去っただけ。それでも、三里塚が引き継いだ課題というものは、ただの問題ではなく、私は魂の問題だと思っ

ている。色んな人が何十年もかかって、色んな人の思いが蓄積して、そういう中で出された結論だと思っ

て。みんなが腹いっぱい食べられて、感謝します。



柳川秀夫

で腹八分目の考え方が備わっていないとダメじゃありません。それが今の大きな課題。滑走路問題はあるんだけど、もう一回ズタズタにされた社会を作り直さないとダメだ。これは三里塚に限ったことではない。社会全体の構造でないかと思っ

て。腹八分目の考え方が備わっていないとダメじゃありません。それが今の大きな課題。滑走路問題はあるんだけど、もう一回ズタズタにされた社会を作り直さないとダメだ。これは三里塚に限ったことではない。社会全体の構造でないかと思っ

て。腹八分目の考え方が備わっていないとダメじゃありません。それが今の大きな課題。滑走路問題はあるんだけど、もう一回ズタズタにされた社会を作り直さないとダメだ。これは三里塚に限ったことではない。社会全体の構造でないかと思っ



平田誠剛

活動家の支援者がそんなことができるか。できない。それができたのは普通の人達。普通の人達がそういう辛いところに行きつてキチンと相手と心を通じることが出来る。多分私たちがそういうところを後から黙ってサポートすることが私たちに求められていることだと

思った。普通の人達がこんなすごい働きをするようになる。熊本の人たちだけに、福島から行った人たちが感動して帰ってきた。とても良い経験。

今、私たちは何もできる力がないと思っ

て。腹八分目の考え方が備わっていないとダメじゃありません。それが今の大きな課題。滑走路問題はあるんだけど、もう一回ズタズタにされた社会を作り直さないとダメだ。これは三里塚に限ったことではない。社会全体の構造でないかと思っ

金城実さん横堀来訪 三里塚農民像を修復

（6面から続く）
管制塔被告団12人（4人が欠席）が壇上に勢ぞろいし、各自の近況報告と管制塔50年に向けてのアピール。
和多田桑夫さんは「反対同盟が闘っているかぎり一緒に闘っていききたい」

集会では壇上に反対同盟の旗、管制塔元被告の原勲さんと9ゲートから突入した新山幸男さんの遺影、管制塔に掲げられた「先鋒隊」の旗。壁には当時の新聞の拡大コピー、ステッカーなどが張り出され、三里塚物

産の落花生、らっきょう、集会のマグカップ、Tシャツ、「加瀬勉 闘いに生きる我が人生は三里塚農民と共にあり（上）」（柘植書房新社）などが並べられた。集会の後、同じ会場で3部の懇親会を行った。77

78年の三里塚を共にたかした他の被告団、労働組合などから当時の闘いの証言、思い、課題などの発言が続いた。
最後に管制塔元被告を中心に肩を組んでインターナショナルを歌った。

では乱入してきた機動隊に腕を折られ、腕を修復した後は横堀鉄塔の中段に30年近く置かれ、拡張を続ける成田空港を睨んできた。修復のために昨年7月2日、地上に下ろした。
4・3 九州島蜂起の集まりのための訪韓前に、金城さんは三里塚を訪れた。
3月27日午後3時半、金城さんが沖繩から横堀に到着。金城さんは農民像の状態を確認。そして、強化プラスチック製の像全体をチタムや鎌でまんべんなく叩き、浮き上がったプラスチックを剥がしていった。浮き上がった部分をそのままにしておくと、また剥がれてしまうそう。

28日朝から、作業に駆けつけた人たちが一緒に、ガラス繊維の強化プラスチックを塗り、着色する作業を続けた。
好天気の下、作業は進み、

石を投げると届くところを飛行機が通り、丸太より太い鉄柱が囲んでいる。監視塔から一部始終監視されている。これほど国家権力に恐れられている闘争があるか。あの鉄塔のために何億の金を使わせている三里塚闘争は素晴らしい。10メートルおきの柱とネットが鉄塔を囲んでいる。革命とはああいうもの。
負けてばかりいるが、三里塚を見て思った。負けるか勝つかは考えない方がいい。抵抗の遺伝子は進化すると沖繩と三里塚の闘いの意義を強調した。
4月8日、金城さんの手で修復を終えた農民像の前で元管制塔被告呼びかけの横堀花見の会が行われた。



金城さんは「天皇警備で警官がウロウロしていた那覇空港から成田に来た。成田に行くと喜んだ。43年前に作った抗議する農夫像に行くまで鉄板で囲われた道、トンネルを鉄塔まで行く。これほど金を国家権力に使わせた闘争があったか。何億も使わせている。

横堀花見の会が行われた。

東京五輪 反対運動の持続を

集会「3・11と東京五輪」



3・11と東京五輪

3月31日、集会「3・11と東京五輪」が都内で行われた。主催は「オリンピック災害」おこし連絡会。原発事故の加害者である国と資本は、事故責任を取るどころか、事故さえ利用し、2020年東京五輪を

3月31日、集会「3・11と東京五輪」が都内で行われた。主催は「オリンピック災害」おこし連絡会。原発事故の加害者である国と資本は、事故責任を取るどころか、事故さえ利用し、2020年東京五輪を

推進。様々なオリンピック災害が拡大している。集会では主催者発言に続き、五輪と原発事故について報告が行われた。小出裕章さんは「五輪は国威発揚金儲けのためであり、原則的に反対。」

作った。これしかできない。福島も同じで今生きている人間は収束を見ることができない。福島原発事故の放射能放出量はセシウム137で広島原発168発分。原子力規制区域と同じ放射線量の場所に数百万人が生活させようとしている。事故を忘れさせようとしている。原子力マフィアにとって重要なやり口がオリンピック。反対すると『非国民』

佐藤和良さん(いわき市議)は「地震・津波と原発過酷事故の複合災害発災から7年。原子力緊急事態宣言は未だ解除されない。毎時9万ベクレルの放射性物質放出が続いた。」

福島第一原発の敷地は放射能の沼になっている。14年10月13日のセシウム134の測定値は環境放出基準の千倍。焼け落ちた炉心が今どこにどんな状態であるのかも分からない。水を注入しているが、放射能汚染水が溢れている。果てしない放射能封じ込め作業と労働者の被曝が続いている。チェルノブイリの石棺は30年でポロポロになったので、その上に寿命100年と言われる新しい石棺を

東電役員が強制起訴され、原発事故の刑事責任を問う裁判が始まった。事故は予見できた。これは普通の業務上過失致死傷事件。福島県民の抵抗と国内外の市民とつながるたたかいを

4月11日、「沖縄からの報告、そして激励の集会」沖縄の高江・辺野古における不当逮捕、そして不当判決を許さない！が都内で行われた。主催は沖縄裁判の3人を支援する会。参加者は180人。

山城さんたちは「山城さんたちは不当に逮捕された。正当に逮捕されるべき人物がいる」とあいつ。

集会には海外の反五輪運動からメッセージが寄せられた。

今行われている『除染』は移染。行われてきた県民健康調査をやめさせようとしている。健康調査の縮小を止め、健康手帳配布など制度を作っていくかないといけない。

山城さんたちへの不当判決に抗議、激励の集会

「警察・検察の目的は山城さんを県民から隔離し言論を封じること。アムネスティ・インターナショナルなど国際人権NGOは逮捕に抗議し即時釈放を要求している。デビッド・ケイ人権理事会特別報告者は人権の国際スタンダードによる対応を求め、

山城さんは「山城さんたちは不当に逮捕された。正当に逮捕されるべき人物がいる」とあいつ。

日本が住民反対運動に過剰な圧力を加えていることに懸念を表明した。山城さんは人権擁護者。被告席に着くべきは政府・沖縄防衛局、そして警察・検察である」

高江・辺野古で多くの人と闘った。裁判では実刑求刑をはね返した。現場に復帰し、「一緒に座り込む」稲葉さんは「海外から帰って、3年半前から辺野古にいる。」



沖縄からの報告、そして激励の集会

「警察・検察の目的は山城さんを県民から隔離し言論を封じること。アムネスティ・インターナショナルなど国際人権NGOは逮捕に抗議し即時釈放を要求している。デビッド・ケイ人権理事会特別報告者は人権の国際スタンダードによる対応を求め、

山城さんは「山城さんたちは不当に逮捕された。正当に逮捕されるべき人物がいる」とあいつ。

日本が住民反対運動に過剰な圧力を加えていることに懸念を表明した。山城さんは人権擁護者。被告席に着くべきは政府・沖縄防衛局、そして警察・検察である」



イスラエルはパレスチナ人虐殺をやめろ！ 帰還権を認めよ！

イスラエルはパレスチナ人虐殺をやめ、帰還権を認めよ！4・20大使館前抗議アクションが行われた。

4月20日、イスラエルはパレスチナ人虐殺をやめ、帰還権を認めよ！4・20大使館前抗議アクションが行われた。ガザ地区などパレスチナでは、「土地の日」3月30日から帰還権の実現を求めるパレスチナ人のデモが毎金曜に行われている。

イスラエル軍は100人以上の狙撃兵や戦車など大部隊をガザ地区の周囲に待機させ、イスラエルが一方的に設置した柵・無人地雷に近づくとテモ参加者を銃撃。4月13日までに計31人を射殺。約2000人に

重軽傷を負わせている。第一次中東戦争によって75万人(当時)のパレスチナ難民が故郷を追われた。国連はパレスチナ難民の帰還権を認める総会決議194号を採択している。だが、イスラエルは国際法を無視し帰還権を認めようとしていない。

政府は護岸工事が6月に終わったら、一気に埋め立てる工事をするようとしている。2人とも最後に歌を歌い、裁判勝利・基地反対の決意を示した。

シリーズ「1968」再考：「叛乱の時代」を問い直す

松井隆志(武蔵大学教員、社会学者) 6月16日(土)午後6時半/要申込 文京シビックセンター 研究所テオリア

インフォメーション 沖縄「日本復帰」46年を問う 今夏、辺野古への土砂投入を許さない！5・13集会 5月13日(日)午後6時/稲嶺進/南大塚ホール/沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 安倍9条改憲NO！森友・加計疑惑徹底追及！安倍内閣退陣！5・19国会議員会館前行動 5月19日(土)午後2時/衆議院第2議員会館前を中心に/全国市民アクション、絵がかり行動 美ちゅら海壊すな 土砂で埋めるな5/26国会包囲行動 5月26日(土)午後2時/国会周辺/国会包囲実行委員会ほか